

【新着参考図書】

『[日本産ハナバチ図鑑](#)』（486.7 /77）

多田内修／編 文一総合出版 2026.5 485p 14,000 円＋税

花粉媒介を通じて植物の種子生産に重要な役割を果たすハナバチ類の図鑑。

初版刊行以降に発見された新種5種、記録はあるもののその後見つかっていなかった5種を含む10種を新たに収録した第2版。

『[日本全国発祥の地事典](#)』（031.4/ニ）

日外アソシエーツ株式会社／編集 日外アソシエーツ 2026.3 671p 12,000 円＋税

主に明治期以降におこった産業・文化・歴史の事物起源を示す発祥の地 1,643 件を都道府県別に排列した事典。前版刊行後に判明・新設された 400 件を超える発祥地を追加した増補改訂版。巻末に分野別索引、事項名索引を付す。

『[日本の祭神事典](#)』 日外アソシエーツ株式会社／編集 日外アソシエーツ 2026.5 (172/ニ/)

『[寄生虫の事典](#)』 永宗喜三郎／編集代表 朝倉書店 2026.6 (491.9 /カ)

『[短編小説21万作家名目録 2009-2025](#)』 日外アソシエーツ／編集・発行 2026.4 (903.1/ニ)

【新着電子書籍】

『くらべてみる は虫類図鑑 形・色・大きさの違いから、その姿になった理由を解き明かす！』

川添宣広 誠文堂新光社 2026.1 163p 12,100 円＋税

日本の公園や川沿いなどにいるトカゲやカメ、ヘビなど、日常で出会える野生のは虫類について、美しい写真とわかりやすい解説で説明しています。同じ仲間の生物でも、種類によって異なる特徴などについて解説し、子どもたちにもその形になった進化の理由を理解できるようわかりやすく解説しています。学校の調べ学習でも活用でき、子どもたちの自然科学への関心を高めることができます。

※この本は電子書籍（KinoDen）で閲覧できます。

県立図書館の My ライブラリーID・パスワードをお持ちの方は[こちら](#)からログインしてください。

県立学校や市町村図書館の取寄せ ID をお持ちの方は[こちら](#)からログインしてください。

【レファレンス事例】

Q. 沖洲墓地はかつて海だったと聞いたが、いつごろできたのか。

A. 下記資料からは、はっきりとした年代は不明だが、光明庵を始めとすると、寛永4年から徐々に新田開発などにより形成されていったか。

1. 『わが町沖洲』 わが町沖洲編集委員会／編 沖洲地区文化おこし委員会 1992.3

p43 光明庵（南沖洲）寛永年間（1624-1644）草創、昭和35年ごろ取り払われる。

2. 『徳島・城と町まちの歴史』 河野幸夫／著 聚海書林 1982.04

p300-304「沖洲地区」安宅にあった御水師屋敷（加子屋敷）の沖洲移転が寛永6（1629）年ごろに行われたことと、耕地化についての記述あり。